

P.03 **五感で楽しむ**
アメリカの
ベストシティ

ニューオーリンズ
ボストン
サンタフェ etc.

P.08

都市部に「まちなか旅館」を
NYSE上場でアメリカ進出が本格化
LogProstyle

P.10

ITトレンドを追う

P.11

アメリカで実践！
バイリンガル子育て

P.12

名古屋で事業を展開した
「ガブリチキン」が
カリフォルニア州にオープン
社長加藤弘康氏

3 FEATURE STORY

五感で楽しむ アメリカのベストシティ



8 NEW BUSINESS CLOSE UP

都市部に「まちなか旅館」を
NYSE 上場でアメリカ進出が本格化
LogProstyle



10 ITトレンドを追う

未来のセキュリティ対策:
AI とゼロトラストで守る企業の資産



11 アメリカで実践! バイリンガル子育て 竹井カヨコ

英語教育を成功させる秘訣は目標設定



12 NEW BUSINESS CLOSE UP

名古屋で事業を展開した「ガブリチキン」が
カリフォルニア州トーランスにオープン
社長 加藤弘康氏



発行元：株式会社システムサポート

編集・制作：吉田沙織、齋藤春菜、柴田早央里、森原潔、宇野彩乃



五感で楽しむ

アメリカのベストシティ

味わい、見て、聴いて、触れて、香る——広大なアメリカには、その土地その土地に他では体験できない魅力がある。本特集では、心と体が刺激される全米の“体験都市”を厳選してご紹介！

ジャズとグルメの町

ニューオーリンズ / ルイジアナ州

アメリカ南部・ルイジアナ州に位置するニューオーリンズは、音楽、料理、歴史、建築など、あらゆる面で独自の文化を築いてきた。もともとは18世紀にフランス領の植民都市として築かれたこの町は、その後スペイン領を経てアメリカに編入。フランス、スペインに加えてアフリカやカリブ、アメリカ南部などさまざまな文化が混ざり合い、唯一無二の文化が形成された。

なかでも世界的に知られているのは、ジャズ発祥地としての魅力。20世紀初頭、アフリカ系アメリカ人コミュニティの中からラグタイムやブルース、ブラスバンド音楽が融合した新しい音楽が生まれた。それが初期ジャズであり、現在でも町のいたるところで生演奏が鳴り響く。音楽だけでなく、クレオール料理やケイジャン料理の多国籍な味覚、マルディグラのカーニバル文化、そして湿地帯に広がる豊かな自然など、ニューオーリンズには五感すべてで楽しめる体験が詰まっている。

五感で巡る体験 TOP5

Preservation Hall

フレンチクォーターの路地裏に佇む「Preservation Hall」は、ニューオーリンズ・ジャズの原点を今に伝える聖地。1961年の開館以来、地元ミュージシャンによる生演奏を間近で体感できる数少ないクラブとして知られている。小さな空間にはステージと客席の境がなく、演奏者の汗や呼吸が感じられるほどの近さでライブが繰り広げられる。事前予約制で、1回の公演は45分ほど。アルコールの提供はなく、純粋に音楽を味わうための空間として人気を博している。



Commander's Palace

南部の伝統料理・クレオール料理を堪能するなら「Commander's Palace」がおすすめ。人気メニューのタートルスープは深いコクと芳醇な香りが魅力で、ニューオーリンズに来たら絶対に外せない名物として知られている。伝統を重んじつつも革新を取り入れたモダン・クレオールをご堪能あれ。



Whitney Plantation

ニューオーリンズの中心街から車で1時間ほど離れたルイジアナ川沿いに位置するWhitney Plantationは、奴隷たちの歴史を伝えるプランテーション。かつてサトウキビ農園として運営されていた広大な敷地には、元奴隷の証言を刻んだ記念碑や像、奴隷小屋、チャペル、居住棟が残されており、当時の生活を今に伝えている。



French Market

全長約6ブロックにわたる屋外マーケット。地元の野菜やフルーツ、お菓子などが並ぶファーマーズマーケットエリアと、アート、クラフト雑貨、アクセサリなどが揃うエリアがある。とくにおすすめなのは、ケイジャン・スパイスや燻製ソルト、シーフード用のブレンドなどルイジアナらしい調合が並ぶスパイス専門店「The Spice & Tea Exchange」。



Swamp & Airboat Tours

都市の喧騒を離れ、ルイジアナの湿地帯をめぐるボートツアー。ミシシッピ川下流域のバイユーやマングローブ林を駆け抜ける最中でアリゲーターやカメ、ヌートリア、サギなど多様な野生動物を間近で観察できる。自然との一体感を味わおう。





アメリカの歴史文化に触れる

ボストン / マサチューセッツ州

アメリカ建国の地として知られるボストンは、歴史が息づく東海岸の文化都市。中世ヨーロッパのような赤レンガづくりの建築が建ち並ぶ町並みに、海風を感じる港のウォーターフロント、そしてハーバード大学やマサチューセッツ工科大学といった世界トップクラスの教育機関など、ボストンは美しさと知性を兼ね備えている。フリーダムトレイルを歩いて町全体に広がるアメリカの歴史の足跡をたどったり、ロブスターやクラムチャウダーといった海の幸のグルメを堪能したりと、視覚、味覚が刺激される旅が待っている。

五感で巡る体験 TOP3



Freedom Trail

ボストンの町を東西に走る、全長約4キロの赤レンガの道。アメリカ独立戦争ゆかりの旧州議事堂やポール・リビアの家など、16の歴史的スポットをたどる道のりは、“歩いて学ぶ”ボストン体験の王道。



Museum of Fine Arts Boston

アメリカ建国100周年にあたる1876年に開館した「ボストン美術館」。世界最大級の規模を誇り、所蔵する作品は50万点以上。日本とのゆかりが深く、仏画、水墨画、浮世絵、刀剣、仏像など日本美術のコレクションが多い。



Union Oyster House

1826年創業のアメリカ最古のシーフードレストラン。新鮮な生牡蠣や濃厚なクラムチャウダーを味わえば、港町ボストンの恵みがダイレクトに舌で感じられるはず。木の香りと潮の匂いが漂う店内も魅力だ。





海と陽光と食に包まれるリゾート サンディエゴ / カリフォルニア州

太平洋に面したサンディエゴは、1年を通して温暖な気候と青空が広がるリゾート都市。La Jolla Coveで美しい海岸線を眺めながら散歩したり、Coronado島のビーチに横たわって潮風と太陽を全身に浴びながらくつろいだりと、南国さながらの雰囲気を楽しめるのが魅力だ。サンディエゴの町にはメキシコ文化の影響が色濃く残り、オールドタウンでは特に歴史的な町並みを楽しめる。博物館で歴史を学んだり、メキシカンレストランで陽気なマリアッチの音楽とともにタコスやマルガリータを堪能したり、西部開拓時代を彷彿とさせるみやげ物店で掘り出し物を見つけたりと、心地良い開放感と活を感じながらユニークな体験を楽しもう。

異文化が融合するアートの都 サンタフェ / ニューメキシコ州

標高2,000メートルに位置するサンタフェは、アメリカ最古の州都にしてネイティブ・アメリカン、スペイン、メキシコの文化が溶け合う独特の雰囲気を持つ。町全体がアドビ建築に彩られ、夕日に染まる町並みは視覚的にも印象的。アート好きなら外せないのが、「The Georgia O'Keeffe Museum」をはじめ数十軒のギャラリーが集まるCanyon Road。町中のあちこちに点在するアート作品を横目にギャラリーを散歩してお気に入りを見つけ、民芸品や陶器、織物などクラフト作品に実際に触れてみよう。サンタフェにはチリや香辛料を使った伝統料理のレストランも点在しているので、アートとグルメにどっぷり浸る時間を過ごしてみたいか？





音楽の都で、音と香りに包まれる ナッシュビル / テネシー州

“ミュージック・シティ”の愛称を持つナッシュビルは、カントリーミュージックの聖地。ブロードウェイ通りに並ぶライブバーでは朝から晩まで生演奏が響き渡り、音楽に浸る旅が楽しめる。「Country Music Hall of Fame」やエルビス・プレスリーも憧れた「Ryman Auditorium」など、音楽ファンにはたまらない名所も点在している。ナッシュビルの旅で外せないのが、ローカルグルメの代表格であるテネシー BBQ。テネシー州の BBQ スタイルは「スモーク&スロー（煙でじっくり低温調理）」で、豚の肩肉やスペアリブを薪や炭で何時間も燻製して仕上げるスタイルが一般的。地元でも人気の「Martin's Bar-B-Que Joint」「Peg Leg Porker」などのレストランで、ホロホロに崩れる香ばしい BBQ を味わおう。

中西部の名都市でブルワリー三昧 ミルウォーキー / ウィスコンシン州

五大湖のひとつ、ミシガン湖の西岸に広がるミルウォーキーは、クラフトビール文化とアートが根づく中西部の隠れた名都市。かつて「ビールの都」と呼ばれたこの街には 30 ほどのブルワリーがあり、「Lakefront Brewery」「MKE Brewing Co.」などさまざまな地元ブルワリーで香り豊かなビールの試飲が楽しめる。また、風を感じながら散策できる湖畔の Lakefront Trail、白い翼のような外観が印象的な「Milwaukee Art Museum」、毎年夏に開催される野外フェス「Summerfest」など、五感を使って過ごせるアクティビティをどっぷりと満喫できるのも魅力。都会の喧騒から離れ、ゆったりと感覚を味わいたい旅におすすめだ。





PROSTYLE 旅館 東京浅草

日本よりアメリカマーケットを選んだ

東京証券取引所の上場も一度は検討しましたが、NYSE上場の理由は証券会社経由で提示いただいた評価とNYSEの評価に差が大きかったのです。もちろんランニングコストは日本で上場するより高いのですがこの点を考慮してもNYSEに上場することで得られるメリットが大きいと思いアメリカで上場を決めました。

都市部にはなぜ旅館がないのだろうという思いがありました。そこで「街なかに旅館を作るとしたらどういうものになるだろう」をコンセプトに弊社事業を進めています。従って都市部の良い立地を見つけて「まちなか旅館」を作りチャレンジしたいと思っています。NYSE市場に上場することで「まちなか旅館」という旅館ビジネスをアメリカやド



ホテルのエントランス

都市部に「まちなか旅館」を NYSE 上場でアメリカ進出が本格化

日本未上場でNYSE上場を果たした株式会社ログプロスタイル (LogProstyle) が注目されている。国内外で総合不動産を展開する株式会社ログプロスタイルは2025年3月25日に日本未上場企業として初めて普通株式でニューヨーク証券取引所へ上場、4月25日にはNYSE取引所でベルセレモニーも行った。海外展開を見据え上場から今後の活動について同社社長の野澤泰之さんに話を聞いた。

バイなど海外事業を展開するときに知名度も高くなるのではと思います。

都市部で魅力的な物件を確保する

物件選びはエリアというより、各都市部の中になぜ旅館がないのか、作るとしたらどういう旅館がいいのかを常に考えています。都市部の良い物件があればチャレンジしていきたいです。日本で成功したビジネスモデルを輸出していくことがポイントです。

ホテルを買収していくのではなく、ビルであったりリノベーションであったり魅力的な物件はどの都市でもあるはず。それを活用し、現地の運営会社に企画ライセンス供与して運営していくことも考えています。事業形態にはこだわらずにまずは「まちなか旅館」を展開していくことが第一歩と考えています。

世界のマーケットに足を踏み入れた実感

NYSEのベルセレモニーで壇上に上がったときに世界のマーケットに立ったなと感じました。上場自体に感慨を持ったというよりは、世界の舞台に立たせてもらったか



NYSEにてLogProstyle 野澤社長

らにはもう後戻りも許されない、本当に頑張らないといけないという思いを強く感じました。

休日は子育てに集中

平日は仕事で忙しくしていますので、休日は自分の趣味に使う人も多いと思います。私は子供と過ごす時間に使っています。下の子はまだ小学生なので目一杯時間を使い一緒に過ごしていますし、平日も自宅に帰れば必ず子供と遊ぶ時間を作っています。逆に言ったら趣味がないかもしれませんね。

PROFILE

野澤泰之
株式会社 LogProstyle 代表取締役 兼 執行役員社長
株式会社 LogProstyle : www.logprostyle.co.jp

アメリカ生活やビジネスヒントを 伝えるU.S. FrontLineの オンラインサイト

usfl.com

随時
更新中!

アメリカの最新ビジネス関連ニュースから
生活情報まで多彩なコンテンツが満載。
これからアメリカで生活する人や、ビジネスの成功の
ヒントを探している人にとって強い味方です。



これだけは
押さえない!

ITトレンドを追う

ITの進化を捉え、成功に導く最新トレンドを解説します。
クラウド、AI、セキュリティ対策などのトピックスをわかりやすく紹介し、
トレンドの波に乗るための情報をお届けします。
ビジネスに役立つ実践的な知識を提供。

Vol. 3 > 未来のセキュリティ対策：AIとゼロトラストで守る企業の資産

現代のデジタル社会において、サイバー攻撃は年々巧妙さを増しています。特に、企業を標的とした高度な攻撃手法が増加しており、単純なセキュリティ対策では防ぎきれないケースが多発しています。このような状況下で、先進的なセキュリティソリューションを導入することが、企業の生き残りを左右する重要な要素となっています。

サイバー攻撃の進化と課題

ランサムウェアやフィッシング攻撃は依然として大きな脅威ですが、近年では攻撃者がAI技術を活用し、さらに巧妙で標的型の攻撃を行うようになってきました。ディープフェイクを用いたなりすましや、取引先を経由したサプライチェーン攻撃など、多様な手法が現れています。

ゼロトラストアプローチの重要性

従来のセキュリティモデルは内部と外部の境界を基にしたものでしたが、クラウドやリモートワークの普及により有効性を失っています。ゼロトラストアプローチは“信頼しない”を前提に、すべてのアクセスを検証し、継続的に監視することで安全性を確保します。

具体的な施策には以下が含まれます。

- ・ネットワークセグメンテーション：システムを分割し、アクセス制御を強化。
- ・ユーザーとデバイスの認証：多要素認証(MFA)と健全性チェック。
- ・リアルタイム監視：AIを活用した異常検知と迅速な対応。

AIを活用した次世代の防御

Trend Microが提供するTrend Micro Vision Oneは、エンドポイント、ネットワーク、クラウド全体での脅威を可視化し、AIの活用により以下の対応を統合的に行います。

- ・自動化：攻撃の検出と対応を自動化。
- ・予測能力：攻撃パターンを分析し、将来の脅威を予測。
- ・効率化：手動対応を削減し、運用の負担を軽減。

社員教育とセキュリティ文化の醸成

最新技術の導入に加え、従業員のセキュリティ意識向上も不可欠です。従

業員向けトレーニングプログラムを活用し、最新の脅威への対応能力を強化が推奨されます。

未来への投資～安全なビジネスの基盤構築

サイバー攻撃が進化する中、企業が持続的に成長するためには、セキュリティへの投資が必要です。AIやゼロトラストを軸とした防御体制を整えることで、ビジネスの安全性を確保し、安心して事業を展開する環境を構築できます。



STX Innovation, Inc.

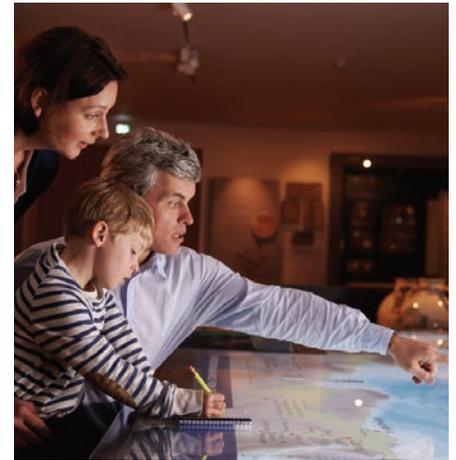
ITソリューション部門「MultiNet」では、システム開発・サーバー構築・ウェブサイト制作からセキュリティ対策から在米日系企業様のサポートをしています。

multinet-usa.com

info@sts-innovation.com



ら英語で情報を得ることができます。実際の環境で言語を使うことは、読解力を含む言語能力の向上に直結します。



学校の先生との連携の重要性

先生方は子どもたちの学習進度やニーズを熟知しているので、先生とコミュニケーションを取ることで、家庭内で学校の学習内容を補完し、さらに強化する方法を教えてもらうことができます。親が積極的に学校と連携し、定期的なコミュニケーションを取ることで、子どもの学習環境全体を最適化することが可能です。

このコラムがあなたの日々の子育てのちょっとしたヒントやアクションにつながることを願っています。

竹井カヨコ



ロサンゼルス圏のトランスエリアとオンラインで子供向けの日本語と英語の語学スクール TLC for Kids LA 校を主宰。広島大学の学校教育学部卒業後、小学校教諭として公立小学校の教育現場に勤務。教育委員会の施設で不登校児童のメンタルケアや学習サポート等にも携わる。のべ10年以上にわたり2000人以上の子供たちと関わってきた経験を生かし、現在はロサンゼルスで1歳半～15歳の生徒やその保護者と日々接している。

Vol.3 英語教育を成功させる秘訣は目標設定

私たち親が子どもたちに望むことの一つに、彼らの英語/日本語の習得があります。言語の習得は、子どもの将来に大きな影響を与える重要なスキルの一つです。特に読解力を育てることは、子どもたちの言語能力全体を高める基礎となります。読解力を育てることで子どもたちの言語能力全体を高め、その将来に大きな影響を与えることができます。

読解力の重要性と目標設定

読解力は言語能力を高め、情報を吸収する基本的な力です。明確な目標を持つことで、子どもたちは具体的な成果に向かって努力することができます。「1年のうちに英語と日本語で各5冊の本を読む」など、達成可能な目標から始めてみてください。また、英検やTOEIC、漢



検などの資格試験に挑戦することも目標設定の一環として考えられます。

親の役割とサポート方法

親としては、積極的に子どもの言語学習に関与し学習をサポートすることが求められます。英語が苦手な親御さんでも、オーディオブックや子ども向けの動画を利用して読み聞かせを実現できます。地域の図書館を活用し、さまざまなジャンルの本に触れる機会も作ってあげましょう。

親子で楽しむ言語学習

親子で言語学習を楽しむことは、学習効果を高めることにつながります。週末に英語の映画を見る「ファミリームービーナイト」などの親子の時間を取ることもおすすめです。物語を通じて新しい言葉や表現に触れることで、言語能力の向上につながります。他の家庭との交流から新たな学習のヒントを得ることも大いに役立ちます。

教育旅行の重要性

アメリカの国立公園や博物館を訪れることは、教育においても大きな価値があります。これらの場所では、子どもたちが自然の驚異や歴史的事実を学びなが

名古屋で事業を展開した「ガブリチキン」を カリフォルニア州トーランスにオープンし、 経営、運営を行なっている社長加藤弘康氏に話を聞く。



アメリカ進出のきっかけ

2011年に名古屋で創業した「ガブリチキン」は、日本全国で最大96店舗まで拡大。その後イタリアン、フレンチ、和食、ラーメン、焼肉など、多彩な業態へと展開しました。

長年ロサンゼルスでの出店を夢見ていた加藤さんは、日本の経営を後任に託し、アメリカ市場への進出準備を開始。そして2024年、ついに「Gaburi Chicken」をオープンしました。

ロサンゼルス・トーランスに位置するこの店舗は、多国籍な顧客基盤を意識しながら、日本の食文化の魅力を発信。現地の人々に本場の味を届けています。

自分好みに仕上げる楽しさが魅力

ガブリチキンの人気の秘訣は、味の良さだけでなく、トッピングのカスタマイズが可能な点にあります。「わかりやすい味とシン

ブルなメニュー、そして自分好みのトッピングが楽しめるのが強みです」と加藤さん。

骨付鶏（写真上）には、激辛ソース、タルタル、おろしポン酢など全13種類のトッピングを追加でき、自分だけのオリジナルメニューが楽しめます。

「アメリカでは『自分で選ぶ』文化が根付いており、スターバックスやサブウェイのようにカスタマイズ可能なメニューが主流。カスタマイズの自由度が成功のポイントです」と加藤さんは述べます。

日本食の需要とターゲット層

「カリフォルニアの日本食需要は大きい。ただし、日本人だけでなくローカルの人々にも愛される店作りが重要です。客層は日本人が約1～2割で、時間帯によって異なる傾向があります」と加藤さんは語ります。今後は、総合型レストランから専門型への移行が進むと予測されており、寿司、ラーメン、焼き鳥など特化型店舗が増加。本格的な味や質を追求する流れが、さらに強まっていくでしょう。

消費者ニーズの変化

「消費者は価格に敏感です」と加藤さん。20ドルでは売れにくいのが、16～18ドルにすると売り上げが増加したといいます。「景気の影響で外食の回数が減っているのでは」と分析。

また、ロサンゼルス飲食市場では「高価格帯の少人数おまかせスタイル」と「手軽な低価格帯」の二極化が進行。中間価格帯の店舗は競争が激しく、価格戦略が重要になっています。

アメリカでの経営課題

加藤さんは「住みたい場所でビジネスをしたい」との思いからロサンゼルスを選びました。しかし、言語の壁や文化の違いを課題に感じると語ります。

「アメリカでは役割分担が明確で、日本のような柔軟性は少ないが、その分、責任感やサービス精神が高い」と分析。また、食材の仕入れや配送のシステムの不便さもあるものの、「その不便も楽しむことが大事」と前向きです。

日本食レストラン成功の条件

加藤さんは「アメリカでは、一度支持を得た店は長く続く傾向があります。そのため、個性を打ち出し、明確なストーリーやコンセプトを持つことが重要です」と語ります。

日本とは異なり、アメリカでは流行の模範が少なく、時間をかけて業態を育てられるのが魅力。そのため単に本格的な味を追求するだけでなく、ブランドの価値を伝え、顧客との関係を深めることが成功の鍵となります。

 **MULTINET**

 multinet-usa.com

ITサービス部門

ITソリューションで在米日系企業を支援

2024年7月にMultiNetはSTS Innovationと統合しました。

サービス

- システム開発・業務システム
- SaaS導入支援
- ITコンサルティング
- 各種マネージドサービス
- デジタルマーケティング
- サーバー構築運用保守
- ウェブサイト・HP制作
- ECサイト制作
- ビジネスフォン・会議システム
- ECサイト制作



 **apron**

 apron-usa.com

ビジネスプロセスアウトソーシング部門

経理、給与処理、人事、総務の代行サービス

日次、月次で発生する記帳業務や売掛金・買掛金管理、小口精算、給与計算。連結レポートや日本本社への報告資料作成まで、経理・給与関連業務全般を代行します。

理業務の変動
費化を実現

業務の安定化

不正の防止

ご利用料金

内容	料金
基本料金 (5.0時間/月)	\$450.00
超過料金 (上記超過作業分)	\$90.00/時間

 **STS Career**

 stscareer.com

人材紹介サービス部門

アメリカ全土へのネットワークで採用をサポート

採用の流れ

理想の人材をヒアリング → 弊社で選定し適切な人材をご紹介 → 書類・面接で御社にて選考 → 給与交渉や入社までの手続きを支援

